

# 問題解決へ着実に前進

## パチンコ依存問題

パチンコは、適度に楽しむ遊びです。

### 14団体支援で業界一丸の体制整う

パチンコ依存問題が度々メディアに取り上げられる。借金を抱えてヤミ金に手を出す老人が年金を使い果たしてしまってうつ病になる…それだけを読んだ人には「パチンコ」悪と捉えられても仕方がない内容のものも多い。しかしパチンコ業界も依存問題に取り組んでいないわけではない。2006年に全日遊連の支援により、パチンコ、パチスロ依存問題の解決支援を行う「リカバリ」

サポート・ネットワーク(RSN)が立ち上がった。ホールには過度なのめり込み抑制策を発表するボスターが貼られ、このボスターを経由して同機関に相談した人が多い。そして、今年はこのRSNを業界14団体で支援していくことが決まった。依存問題への世間の関心が高まるいま、この業界に関わる私たち全員が、改めて依存問題の現状について考える必要がありそうだ。

### パチンコ業界の依存取組み姿勢は誇りを持つていい

ばらんこ依存問題相談機関「リカバリーサポート・ネットワーク」代表

全日本遊連の支援によって2006年に設立された、ばらんこ依存問題相談機関「リカバリーサポート・ネットワーク」(RSN)には、4年半の活動の中で5000件を超える相談が寄せられ、着実に依存問題に関するデータが蓄積されている。5周年を迎える来年度から、その活動はパチンコ業界全体によって支援されることが決まっている。精神科医師でもある西村直之RSN代表に、改めて依存問題について聞いた。

—改めて、RSNの活動を簡単にご説明ください。

西村 RSNは、パチンコ

によって支援されることが決まっている。精神科医師でもある西村直之RSN代表に、改めて依存問題について聞いた。

コ・パチスロの遊技に関する依存および依存問題を対象に無料の電話相談を行っています。依存問題の実態把握のために、遊技にのめり込んだり、電話をかけてきたのも、電話をかけてきたの

でいる日本人やその家族を対象に無料の電話相談を行っています。依存問題を把握するために、遊技にのめり込んだり、電話をかけてきたのも、電話をかけてきたの

がどういった状況なのかをうかがい、その方の近くの行政相談窓口や自助グループなどを紹介します。私たちは、「だからパチンコ」というものは危ない」ということを話します。ただしではなく、「どういふうな発見があ

りますか?

精神科 医師

西村 直之

支援となります。支援額が増えるという以上に、業界の団体で支援するといううえで大き

な意義があると思います。全日遊連が資金的に厳しくなって他の団体に負担を求めたということではありません

で。

西村 最初の発見とい

うのは、パチンコ業界の人

たちが依存問題に関してどのような発見があ

りましたか?

西村 のは、パチンコ業界の人

たちが依存問題に関してどのような発見があ

りましたか?

西村 最初の発見とい

うのは、パチンコ業界の人

たちが依存問題に関してどのような発見があ

りましたか?

西村 最初の発見とい

業界の人たちは  
一緒にこの問題を  
考えていただきたい

——「6年半を振り返ってみて、活動の進捗はいかがでしよう？」

西村 依存問題への取り組みを理解してほしいということです。業界団体が自ら設立したRSNは日本で先鞭をつけるものであり、自分たちの産業が抱える依存という問題を取り組むことによって、自分たちがよりよいものになる可能性を見いだせるはずです。バチンコ営業は依存問題と隣り合わせだけど、自分たちがその問題に取り組むことで共存していくのだと。依存問題への取り組みが業界内のあるひとつのが、団体のバフォーマンスだらけで防ぐのかな。せこいつと一緒に考えていただきたい。

相談経路		N=561(初回のみ)				
	本人	家族・友人	援助職者	ホール関係者	合計	
ホール内ボスター	287	30	0	1	318	と、本人からの相談経路では
インターネット	59	70	0	0	129	ターを見たことがきっかけかけ
他の相談機関	10	22	0	0	32	超えた。また、低玉賃しユーナー
新聞	1	9	0	0	10	を抱えている人がいることがわ
TV	4	2	0	0	6	今年4月から9月30日まで
その他	16	22	0	0	38	の相談件数の合計は
不明	20	6	2	0	28	563件だった間違い
合計	397	161	2	1	561	無言、問い合わせ65件含む。初めてかけてきた人

が561件。この初回相談のコールー電話を下で年々

設立から7件まで。今後も年々

1ヶ月の遊技代(貸玉の種類別)				
	通常貸玉	低五貨	両方	不明・拒否
5万円未満	35	18	16	1
5~10万円未満	57	5	27	3
10~15万円未満	38	2	14	1
15~20万円未満	18	1	6	2
20万円以上	49	0	11	0

「対象者に対する立場が親配偶者か友人でも30代後半が多く多いが、本調査点は50代・60代と違う点は50代・60代の順位が「30代・40代・20代の順位」といふことだ。RSNはいかほんと差がないという点だ。」

**のめりこんでいる機種**

機種	割合
ぱちんこ	57%
両方	25%
スロット	15%
不明・拒否	3%

N=397 (初回、本人のみ)

**貸玉の種類**

種類	割合
通常貸玉	56%
両方	21%
低玉貸	8%
不明・拒否	15%
中断中(12カ月以上)	0%

N=397 (初回、本人のみ)

年収	ばらちん (%)	スロット (%)	両方 (%)
20万円以上	3.6	6.3	10.2
15~20万円未満	0.7	1.3	6.3
10~15万円未満	3.0	5.6	9.6
5~10万円未満	5.3	7.9	17.2
5万円未満	3.0	5.0	15.2

**ホール内ポスターが7割**

問題レベルは比例しない

も依存といふ問題を考へる必要がありそうだ。

RSNの活動のもうひとつの柱である「GA」など地域のネットワークの紹介については何か進展はありましたか?

です。RSNの電話で行政サイドにも問題の存在が伝わって、地域のGA支援を始めたケースが多數あります。また、GA自体も増え、私たちが把握しているだけで現在は44都道府県で115つもあります。

来年度も継続することになりました。毎年RSENの活動がなったのは、毎日遊連がこれまでの4年半を意義があったと認め理解してくださったからだと思います。

件 キャンペーン」とい  
も種目はバシコやバ  
口に関する相談がほ  
ど。

とん  
の必要な病気だということを認知してもらうことが重要(同セントナー)  
第二章では依存症の回復のプロセスを①導入期②回復初期③回復中期④発展期の4段階に分けて説明し

健センターなど)にも電話をするよう助言します。その地域にはギャンブル依存の問題で困っている援助が必要な人がいるという声を上げてほしいのです。4000人以上の電話相談者の方々の上に、可制かが電話によれば、ソースではなくて業界に関わる皆がってほしいと思っていました。この点については、全日遊連1団体による支援から、業界14団体による支援へと発展しました。かなり前進したと思っております。当初「耳聴の事

応したり、ギャンブル問題での相談も行っています。回、ギャンブル依存症マニアアルを作った、「ギャンブル問題」での件数が毎年増えていくからだという。同センターへのギャンブル関連の電話相談件数は、2009年までで、1万件超

回復までのプロセスを岡崎義也が解説。入りで分かりやすく説明。第一章では、ギャンブル依存症のメカニズムや発生する問題などをについて解説している。「ギャンブル依存症に対するアセスメント」として「気分や根性」で克服しようとする。回復につながる。本人や周囲の理解が重要だ。

大分県の「ここことからだの相談支援センター」が今年、ギャンブル依存症の回復マニュアルをまとめた。依存症かどうかを確認するためのチェックリストのほか回復までのプロセスを説明している。マニュアル作成にはギャンブルに関する相談が年々増えているという背景があった。

大分県「ギャンブル回復マニュアル」を作成

